

橋本市DX推進計画

～暮らし・元気・スマートを加速～

改訂概要

- ①令和6年度の主な取組実績と令和7年度の主な取組内容を追加
- ②DX推進事業の変更（進捗、検討結果の反映）

橋本市DX推進計画

～暮らし・元気・スマートを加速～



橋本市
HASHIMOTO CITY



総合計画の将来像

「人輝き あたたかさ湧きでる みんなで創造する 元気なまち 橋本」
の実現をデジタル技術の活用によって加速・推進

暮らしのDX

- ・暮らし（市民）の利便性向上
- ・人にやさしいデジタル化

行政経営のDX

- ・行政事務の効率化と基盤整備（スマート行政）
- ・デジタル技術の活用による社会課題の解決

分野別のDX

- ・地域社会のデジタル化
- ・ICTツールの積極的な活用

計画期間



総務省自治体DX推進計画の終期に合わせ、令和5年度（2023年度）から令和7年度（2025年度）までの3年間とします。国の動向やデジタル技術、社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

	2023年度 R5年度	2024年度 R6年度	2025年度 R7年度	2026年度 R8年度	2027年度 R9年度
橋本市長期総合計画	後期基本計画（R5～R9）				
総務省自治体DX推進計画	自治体DX推進計画（R3.1～R7）				
橋本市DX推進計画	DX推進計画（R5～R7）				



- 電子申請サービスで利用可能な行政手続きを増やすとともに、オンライン窓口といったツールを活用することで、行政手続きや行政サービスに関する利便性の向上を図ります。

◆主な取り組み

申請手続きのオンライン化

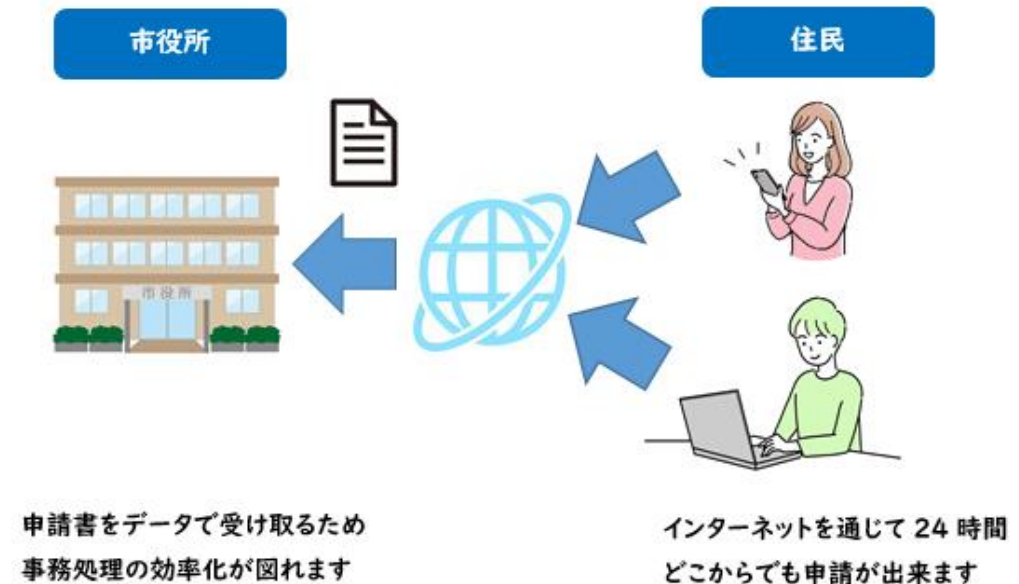
スマートフォンやパソコン等を使用して、時間や場所を問わずオンライン申請できる手続きを増やします。

窓口のデジタル化

申請書の作成補助システム等を導入し、窓口で簡単に申請書を作成できるようにすることで利便性の向上と待ち時間の短縮を図ります。また、公民館と市役所を繋ぐ遠隔窓口の活用を図ります。

◆その他取り組み

- キャッシュレス決済の推進
- マイナンバーカードの普及促進・利活用



いつでも、どこからでも



- 幅広い人々が容易かつ持続的にデジタル化の恩恵をうけられるよう、ICT教育や、住民同士の助け合いによるICT普及を促進します。
- オープンデータを公開、活用できるよう、管理体制や活用方法を確立します。
また、ビッグデータ・AIを活用した施策の分析や政策立案を検討します。

◆主な取り組み

ICT活用支援

橋本市では、高齢者を含むすべての市民が行政サービスのデジタル化の恩恵を受けられるよう、様々な取り組みを進めています。

その一つとして各公民館等で「スマートフォン教室」を開催します。また地域内交流を促進するため、一部の講座について、市内の学生に講師役をお願いする予定です。

◆その他取り組み

- オープンデータ公開
- ビッグデータ・AIの活用

人にやさしいデジタル化





- 電子決裁の導入・ペーパーレス化の促進や、標準仕様準拠の情報システムへの移行を踏まえた業務フローや連携の見直しを図ります。
- AI・RPAの利用を促進するとともに、電子データ化やWEB会議の普及などを踏まえ、行政事務補助システムと事務用機器を整備します。

◆主な取り組み

AI・RPAによる事務作業の効率化

業務へのAI・RPA技術の利用を促進し、事務処理の効率化を図ります。また電子データ化やWEB会議の普及などを踏まえ、電子決裁の導入など、行政事務補助システムと事務用機器を整備します。

デジタル人材の確保・リモートワークの促進

デジタルアドバイザーなどを活用し、職員の人材育成を図るとともに、働き方の多様化に伴いリモートワークに対応した勤務環境の整備を行います。



スマート行政



- 基幹業務の標準仕様の策定にともない、基幹系業務システムについて、国が策定する標準仕様に準拠したシステムへ順次移行します。

◆主な取り組み

情報システムの標準化・共通化

国が示す標準仕様に準拠したシステムを導入することにより、各種様式の統一化を図り、窓口手続き等の簡素化を目指します。

また、制度改正等に伴う改修費用等の削減に繋がります。



情報セキュリティの強化

情報システムの多様化等の状況を踏まえて、利便性の向上と安全性の確保の両立を図るため、随時セキュリティポリシーの見直しを行い、またサイバーセキュリティについてリスク対策を強化します。





- ICT技術の活用による新たなサービスモデルの構築や普及、地域産業の生産性向上や発展に寄与するICT導入などを支援し、持続可能な地域社会づくりを促進します。

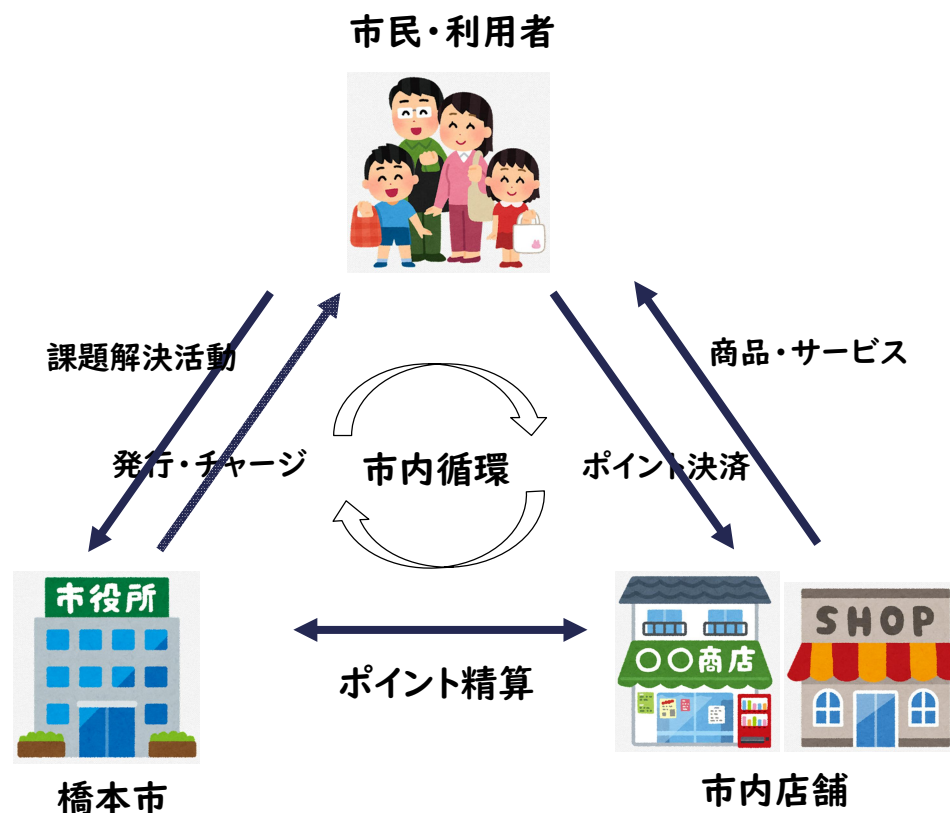
◆主な取り組み

デジタル通貨（ポイント）による地域経済の活性化

デジタル通貨アプリの導入により、お金の地産地消を図り、市内経済循環を高め、地域経済の活性化を図ります。
また、市民参画による課題解決機会への参加および事業への継続的な参加促進を目的とした『さんかくポイント』『推進ポイント』付与事業も開始します。

◆その他取り組み

- デジタル技術の導入支援





- 各分野において、事業の効果や効率の向上を図るため、ICTツールを積極的に活用します。

◆主な取り組み

●教育分野におけるICT活用

電子黒板や指導者用デジタル教科書を各小中学校に導入・活用して、GIGAスクール構想により整備した端末等のICT機器の更なる活用を図ります。

●情報コミュニケーション（LINEの活用）

対話型の操作メニューを活用した分かりやすい申請手続きや、ひとりひとりの知りたい情報に合わせた配信、LINE上での相談対応等を行います。

●要介護認定事務のデジタル化

介護認定の申請から認定までの一連の事務において、デジタル技術を活用できる部分をデジタル化し、申請から認定までの迅速化を図ります。



R6年度の主な取組実績

R6年度の主な取組実績



①教育DXの推進

小学校における指導者用デジタル教科書の導入

②デジタル地域通貨（Hashi-Mo）の活用

指定事業への参加で『さんかくポイント』『推進ポイント』の付与をスタート

③小中学校体育館への無線ネットワーク整備

平時は授業等で活用。災害時には避難者向けに開放。

④ICT活用支援

様々な方がデジタル社会の利便性を実感してもらえるようスマホ教室を開催

⑤ビジネスチャットツール（LoGoチャット）の導入

職員間のコミュニケーション活性化、庁内業務効率化を促進。

①教育DXの推進（デジタル教科書）



市内小学校において指導者用デジタル教科書を導入し、電子黒板と連動させることで、学習指導を進める環境を整えました。

導入箇所：小学校14校

導入教科：13教科

国語・書写・社会・地図・生活・算数・
理科・音楽・図画工作・家庭・保健・
英語・道徳

効果：児童・生徒が画像や動画を交えながら授業が受けられ、学びの充実が図られている。
また教員にとっては、板書や教材作成に時間を取られることがなくなり、教員の負担軽減に繋がっている。



②デジタル地域通貨(Hashi-Mo)の活用



■さんかくポイント付与事業のスタート

■推進ポイント付与事業のスタート

■Hashi-Moカードの新設



■プレミアム付デジタル地域通貨の発行

市内経済循環

事業者支援

橋本市プレミアム付デジタル地域通貨2024

プレミアム率 **20%**

一人あたり購入上限
10,000円(10,000ポイント)
2,000円プレミアムポイント付与
1,000円単位で
購入できます。

橋本市デジタル地域通貨 Hashi-Mo を使って
20%のポイントゲット!!

販売期間
令和6年10月8日

橋本市を元気に
地域通貨で
デジタル

市民参加による地域課題解決

橋本市デジタル地域通貨 ハシモ

Hashi-Mo

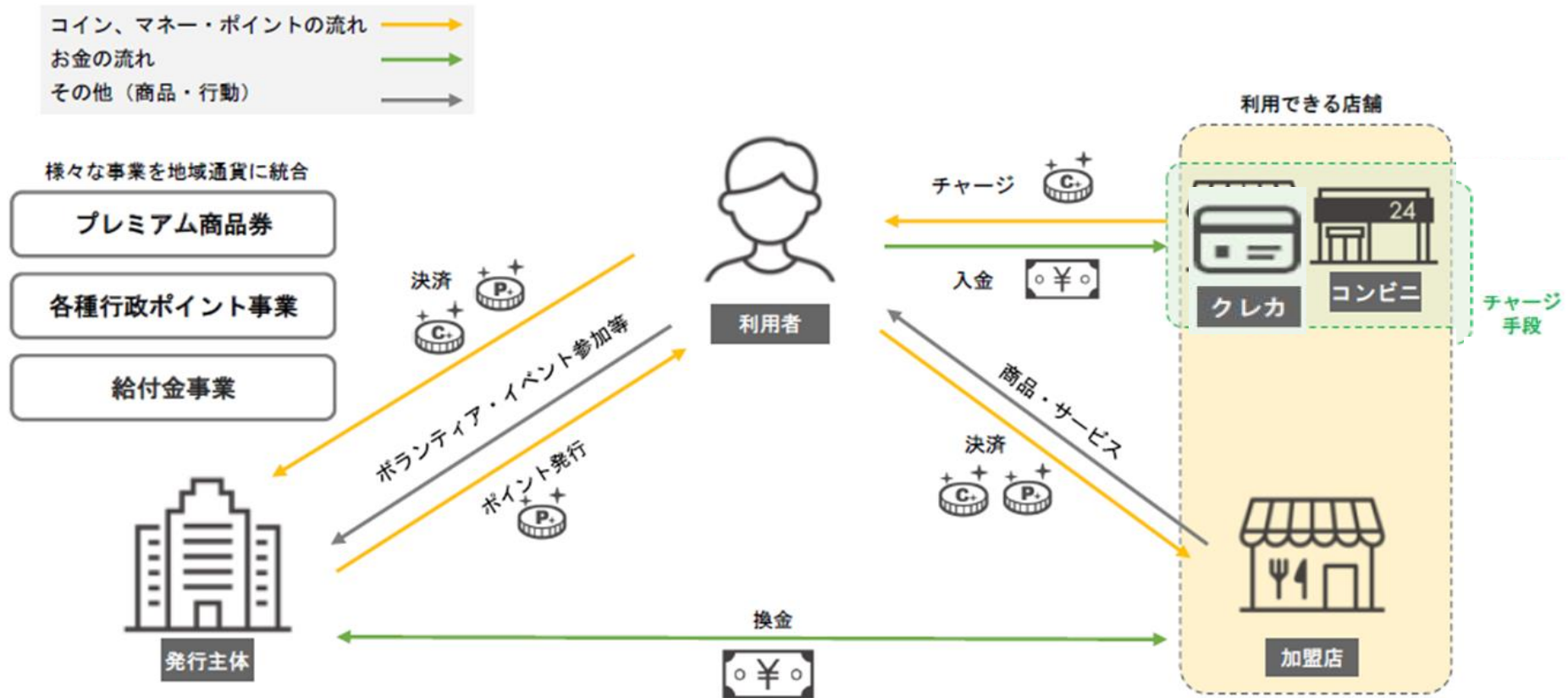
新ポイントスタート!

地域を元気にする場に参加して
「さんかく《参画》ポイント」をもらおう!

01 市が指定するボランティアや講座、イベントなどに参加し「さんかくポイント」をもらいましょう。

02 もらったポイントは対象のお店でのお買い物や、飲食・サービスの支払いなどにつかえます!

デジタル地域通貨Hashi-Moのポイントの流れ



R6.7月～ セミナー・講座、ボランティア、イベントなど市指定事業参加者へのポイント付与

R6.8月以降 各課推進事業参加へのポイント付与 (R6.3事業: 生ごみリサイクル推進・特定健診受診・防災マイタイムライン作成)

市内の経済循環の向上と地域課題の解決に取り組み、地域を元気に！

○今年度取組内容

- ・『さんかくポイント』『推進ポイント』付与事業の開始
- ・市民参画による課題解決機会への参加および事業への継続的な参加促進のため、市が指定するセミナー・講座、ボランティア、イベントへの参加に対しデジタル地域通貨「H a s h i - M o」でのポイント付与を実施しました。
- ・プレミアム付デジタル地域通貨
物価高騰等の影響により市内商工業者における消費が伸び悩んでいることから市内加盟店舗で利用できるデジタル地域通貨を活用し、R5年度に引き続き「橋本市プレミアム付デジタル地域通貨」の販売を行い消費拡大を図りました。
今年度からはH a s h i - M oカードを新設し利便性も向上させました。

○今後の取組内容

- ・市内の経済循環の向上と地域課題の解決に向けて。
R7年度はポイント付与事業を拡大し、より地域に密着した活動への市民参加の機会となるようデジタル地域通貨を活用していきます。

③小中学校体育館への無線ネットワーク整備

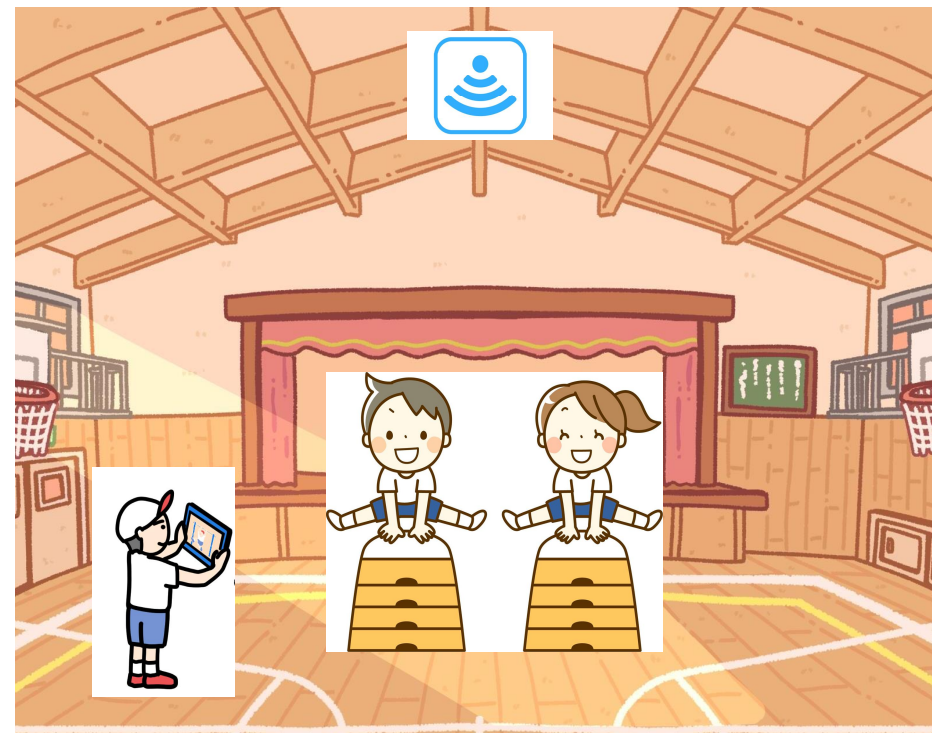


市内小中学校の体育館において、体育の授業等で無線LANを利用できる環境を整備しました。

整備箇所：小学校14校 中学校5校

活用方法

- ・体育の授業等で、タブレット端末のカメラによる運動の録画や動画再生により、他の教科と違った形でICTを活用
- ・災害時には拠点避難所として避難所生活を送る市民にWi-Fiを開放し、情報伝達手段を確保



④ICT活用支援

デジタル社会の利便性を実感できるように、デジタル機器の操作に不慣れな方を対象としたスマートフォン教室を実施しました。

（R6に実施したスマートフォン教室）

開催回数：48回

開催場所：各地区公民館

参加者：428人（累計）

《スマートフォン教室の内容》

3回1クールで開催（前期・後期）

基本的な使い方や、橋本市でのスマートフォンを活用した行政サービスについてご案内しました。



スマートフォン教室の様子

○今年度取組内容

- ・デジタル社会の利便性を実感できるように、民間事業者と連携して日常生活で活用できる便利な機能を楽しく学べる教室を開催しました。
- また、橋本市からの情報の受け取り方やデジタルでの行政手続き・地域通貨事業への参加方法などもお伝えしました。

○今後の取組内容

- ・令和6年度に引き続き、すべての市民が行政サービスのデジタル化の恩恵を受けられるよう、講座・教室等の開催を予定しています。
- また、一部の教室について市内の学生(高校生など)に講師サポートをお願いする予定です。

⑤ビジネスチャットツール（LoGoチャット）の導入



ビジネスツールを導入し、職員の業務効率化や職員間のコミュニケーション活性化を図りました。

【ツール活用による効果】

- ・ 職員間のコミュニケーション活性化
- ・ 庁内での内線電話の削減
- ・ 内線の代わりにチャットを使うことでの情報伝達の迅速化、時間の拘束の解消
- ・ グループチャットによる、複数名とのコミュニケーションの円滑化
- ・ 他自治体との情報交換・情報共有 など



○今後の取組内容

ツールの新たな活用方法（災害時の活用など）を検討し、引き続き業務効率化を図っていきます。

R7年度の主な取組み



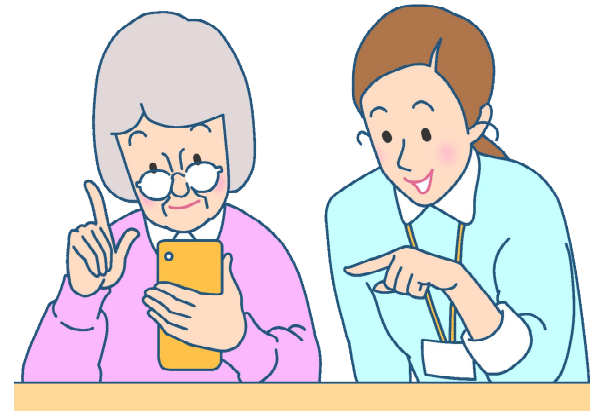
- 幅広い人々が容易かつ持続的にデジタル化の恩恵をうけられるよう、ICT教育を促進します。
また行政サービスをデジタル化し、オンライン利用の拡大と利便性の向上を図ります。

◆主な取り組み

●ICT活用支援

令和6年度に引き続き、すべての市民が行政サービスのデジタル化の恩恵を受けられるよう、各地区公民館で「スマートフォン教室」を開催します。

また、一部の講座について、市内の学生に講師役をお願いする予定です。



●電子窓口の運用見直し・拡充

「書かない窓口」の運用を見直し、今まで以上に申請時間・滞在時間の短縮につなげる。

また、logoフォーム等を活用し、オンライン申請可能な手続きを順次追加し、利用拡大・市民の利便性向上を図る。





- 基幹業務の標準仕様の策定にともない、基幹系業務システムについて、国が策定する標準仕様に準拠したシステムへ順次移行します。

◆ 主な取り組み

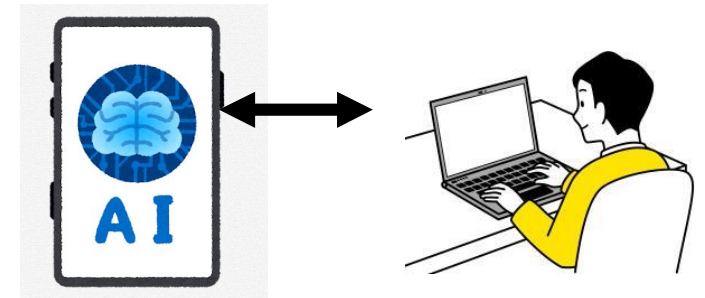
● 生成 A I ツールの導入

文書作成、企画立案補助など幅広い業務で生成 A I（C h a t G P T）を適切に活用することにより、職員の業務の効率化や業務改善を図ります。

また、市民サービスの向上につながるような活用も進めていきます。

● 財務会計システム電子決裁機能導入

電子決裁機能を導入することで、伝票処理のペーパーレス化を実現しコスト削減を目指します。また、出先機関の伝票処理業務にかかる移動時間削減等により業務の効率化を図ります。





- 各分野において、事業の効果や効率の向上を図るため、ICTツールを積極的に活用します。

◆主な取り組み

●デジタル教科書の導入

中学校において指導者用のデジタル教科書を導入します。デジタル黒板との併用により紙面では実現できない機能を活用し、学習効率の向上や教員の負担軽減を図ります。



●きめ細かな教育支援体制構築

特別支援教育において多種多様な子どものニーズに的確に对应していくために、今までの教員の対応に加え、ICTを活用した特別支援教育の支援体制を構築することにより、質の高い教育を提供します。

誰一人取り残さない
学びを提供する

多様な子どもに学びを届けるために一人ひとりの実態に合わせた合理的配慮や指導内容を提案します。



子どもと向き合う
先生を支える

先生が安心して楽しく指導に臨めるよう、指導内容の考案と同時に、専門性向上を目指します。先生の業務負担を軽減し、子どもに向き合う時間を増やします。



切れ目なく
学びをつなげる

ICTを用いたデータを連携することで子どもの実態や指導内容を学校内や関係機関へスムーズに共有でき、切れ目のない支援体制の構築に貢献します。





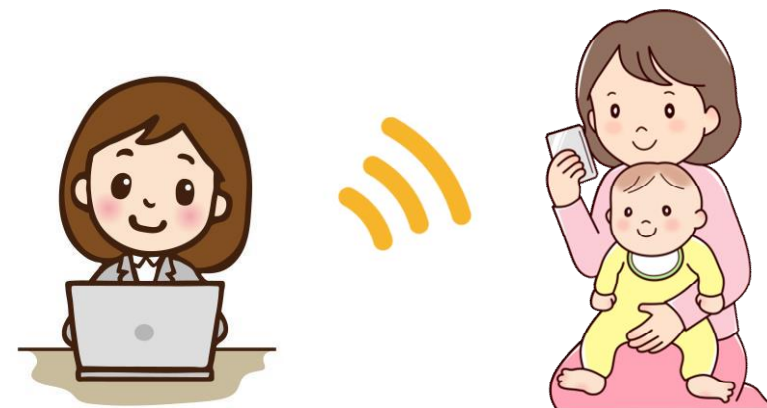
- 各分野において、事業の効果や効率の向上を図るため、ICTツールを積極的に活用します。

◆主な取り組み

●電子母子保健ツールの導入

母子健康手帳の記録や管理、予防接種スケジュールの作成や、自治体から住民に対して、お知らせやイベント情報などを配信できる、子育て支援ツールを導入します。

本ツールにより、住民の利便性向上と自治体業務の効率化を図ります。



●議会の音声文字化システム導入

議員の質疑を始めとする発言や、当局職員の答弁などといった会議での発言内容が瞬時に文字化され、モニターに映し出される音声の文字化システムを導入します。

